

兵身協

ひょうしんきょう

2026

1

Vol. 52

発行

公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会
神戸市中央区坂口通2丁目1番1号 兵庫県福祉センター6階
TEL 078-242-4620 FAX 078-242-4260
発行人 木村佳史

トピックス

令和7年度 兵庫県障害者福祉大会報告



笑顔でナイスショット！
気持ちも体もリフレッシュ。



みんなで投げれば、
楽しさストライク！

福祉の明日を照らす
功績に、感謝をこめて。



Contents

- p2- 理事長 新年のごあいさつ
- p3- 兵庫県知事 新春メッセージ
- p4- 第45回日身連近畿ブロック福祉大会・第27回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会 **topics**
- p5- 令和7年度災害時要援護者支援研修会・兵庫県身体障害者相談員研修会を実施しました
令和7年度第32回身体障害者グラウンドゴルフ県大会実施報告
- p6- みんなの声かけ運動活動報告
- p7- 令和7年度兵身協ボウリング大会を開催しました！
障害者週間について
- p8- 令和7年度兵庫県障害者福祉大会報告





令和八年 新年のごあいさつ

公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会
理事長 木村 佳史



新年あけましておめでとうございます。
皆さまには、清々しい初春をお過しのことと心よりお慶び申し上げます。

「大阪・関西万博」を楽しまれた方も大勢いらっしゃると思いますが、阪神・淡路大震災から30年を迎えた昨年は、障害者福祉、特に聴覚障害者福祉に関する大きな前進がありました。一つは6月に国や自治体の手話施策の基本理念等を定める「手話施策推進法」が成立するとともに毎年9月23日がわが国における「手話の日」と定められたこと、そして二つ目は11月に東京2025パラリンピックが開催され、兵庫県出身選手をはじめとする日本代表の大活躍によってデフスポーツへの関心が高まったことです。

社会保障については、とりわけ医療・介護や年金制度の改革に関する意見が多く交わされる昨今ですが、私たち障害者に関わる福祉制度についても、地道な法制度整備が年々進められているものの未だ道半ばです。社会保障への関心や障害者福祉への認知度が高まりつつある

今、改善すべき点を具体的に顕在化させ、国や地方自治体における議論の俎上に載せることによって、一つでも多くの問題を解決に導くことができればと考えています。

加えて、最近では社会や生活のさまざまな場面でデジタル化が進み利便性が飛躍的に向上する一方で、その新しい情報技術を利用できない人との格差が生じる「デジタルデバイド」の問題が拡大しています。当協会では、この問題についても引き続き相談や研修に力を注ぐなど、身近な問題解決に取り組んで参ります。

結びに、本年が穏やかで幸多い一年になりますこと、さらに皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和八年新春メッセージ 次代を拓く 兵庫の力

兵庫県知事 齋藤元彦



新年あけましておめでとうございます。
昨年は、阪神・淡路大震災から30年、終戦から80年という大きな節目を迎え、過去を振り返り、未来への責任を改めて心に刻む、意義深い一年となりました。

令和8年は午年。力強く駆け抜ける「行動力」と「挑戦」を象徴する年であり、未来に向けた兵庫づくりを力強く進めてまいります。

第1は、若者・Z世代へのさらなる支援です。県立大学授業料無償化等の教育費負担の軽減、県立学校の教育環境の充実、海外留学支援、不登校やケアラー、ヤングケアラー等の課題を抱える若者への支援など、一人一人が自らの夢や目標に向かって、力を発揮できる環境を整えます。

第2は、活力あふれる兵庫の創出です。フィールドパビリオンなどの万博のレガシーを活かした交流人口の拡大や、スポーツ・芸術文化の振興、農林水産業や地場産業への支援など、地域の魅力を高め、活力ある兵庫を築いていきます。

第3は、安全安心な暮らしを支える基盤の強化です。南海トラフ地震などの

大規模災害に備え、防災力を高めるとともに、上下水道の老朽化対策、特殊詐欺被害対策、ツキノワグマ対策などの日常の安全を守る取組を強化していきます。

長引く物価高騰により生活に困窮する方、福祉サービスを必要とする子ども、高齢者、障害をお持ちの方などへの支援が一層求められています。

誰一人取り残されることのない、地域共生社会ひょうごの実現を目指し、持続可能な保育の提供体制の構築等を通じた子どもを産み育てやすい環境づくりをはじめ、介護・障害福祉サービスの充実やひきこもり、孤独・孤立など様々な困難に直面する方への支援を市町等と連携・協働し、強化してまいります。

未来を見据え、県民の皆様とともに新しい時代を切り拓いていく決意です。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第45回日身連近畿ブロック福祉大会・ 第27回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会 神戸市東灘区で開催！

令和7年11月11日（火）、日身連近畿ブロック連絡協議会の第45回福祉大会及び第27回相談員研修会が、（社福）神戸市身体障害者団体連合会主管のもと、神戸市立東灘区文化センター「うはらホール」で開催されました。

第一部の福祉大会は、主管団体挨拶、来賓祝辞などから始まり、前年度決議事項処理報告、大会宣言、大会決議と議事が進みました。

「前年度決議事項処理報告」では、昨年、日身連の全国6ブロックより提出された要望事項が「日身連要望事項」として国の関係省庁に提出され、これに対する各関係省庁からの回答が「日身連要望事項回答文書」として取りまとめられた旨、報告がありました。

次に、「大会宣言」が誓われ、これを受け「大会決議」では、右記の15項目が、国や関係機関に対する要望事項として採択されました。

第2部として、身体障害者相談員研修会が開催され、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活・発達障害者支援室係長の小河佑樹氏から、「相談支援体制の充実強化と身体障害者相談員について」と題した講演が行われました。

障害者総合支援法の改正状況から最近の情勢まで、具体例を交えて幅広く掘り下げた内容の研修会でした。

国や関係省庁に対する要望事項

- ① 障害者権利条約の規定を反映した高水準施策の推進
- ② 改正障害者差別解消法推進のための国庫予算の改善
- ③ 福祉サービスの地域間格差の是正
- ④ 障害者相談員の身分等法制度の充実強化
- ⑤ 障害者雇用の促進強化と雇用継続のための助成等の充実
- ⑥ 障害者・高齢者等の移動の円滑化のためユニバーサルデザインの推進
- ⑦ 災害対策会議等への障害者団参加と要援護者名簿共有による防災のネットワーク化
- ⑧ 重度障害者医療費助成制度等の国制度化
- ⑨ 教育において障害の理解を深める「心のバリアフリー」学習の充実強化
- ⑩ エスカレーターでの歩行禁止や片側空けが危険であることの周知徹底
- ⑪ 障害者団体の会員減少に伴う組織の弱体化の歯止めと強化につながる施策の展開
- ⑫ 駐車禁止除外指定車標章交付基準の緩和
- ⑬ 安全な踏切への実効性ある対応
- ⑭ 避難行動要支援者の個別避難計画の策定の推進
- ⑮ 介護報酬単価の改正



令和7年度

災害時要援護者支援研修会・兵庫県身体障害者相談員研修会を実施しました

令和7年9月18日（木）、兵庫県福祉センターにおいて、第一部「災害時要援護者支援研修会」、第二部「身体障害者相談員研修会」を開催しました。

年に一度、県内の身体障害者相談員の方々が一堂に集う研修会であり、今年はオンライン配信も取り入れたことで、県内38市町から計189名と多くの身体障害者相談員および介助者、市職員等に受講いただきました。

一部、二部ともに熱心に受講される身体障害者相談員の皆様の姿が見られ、相談員として必要な知識を習得し、今後の活動への意欲を高めることができる研修会となりました。

【第一部 災害時要援護者支援研修会】

講師：ひょうご防災特別推進員

東瀧 弘子 氏

演題：阪神淡路大震災から30年
正しく恐れ 正しく備える
～いのちをつなぐ一歩 AEDの基本～

【第二部 兵庫県身体障害者相談員研修会】

講師：社会福祉法人 兵庫県視覚障害者福祉協会
総務・生活支援班長 小林 由夏 氏

演題：合理的配慮と見えない・見えにくい人への相談支援



令和7年度
第32回

身体障害者グラウンドゴルフ県大会実施報告

令和7年10月21日（火）、姫路みなとドームにおいて、第32回兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ県大会を行いました。

天候にも恵まれ、県内各地から11チームが参加しました。参加人数は、選手57名を含む総勢115名。

皆さん、大いに楽しまれ交流を深めることができました。

準備段階からご協力くださった、姫路市身体障害者福祉協会や関係者、ボランティアの皆様には、心より感謝申し上げます。

競技結果は右記のとおりです。（敬称略）

団体の部

優勝 南あわじ市身体障害者福祉協会
南淡支部
準優勝 明石市チーム
第三位 丹波市Aチーム

個人の部

優勝 近藤 伸廣（丹波市Aチーム）
準優勝 林 昭弘（たつの市身体障害者福祉協会チーム）
第三位 山本 和民（南あわじ市身体障害者福祉協会 南淡支部）



（優勝チーム）



（個人入賞者）



1日福祉体験「車いすに乗ってみよう」を開催しました

令和7年7月18日(金)、兵庫県福祉センターにて、みんなの声かけ運動推進員地域会議として車いす体験研修会を開催しました。

車いす常用者の久保秀男氏を講師にお招きし、「街なかの車いすの困りごと」についてご講演いただきました。

体験会では、久保講師の解説を聞きながら交代で車いすに乗り、館内の多目的トイレやエレベーターなどを車いす目線で体験して回りました。



当日は視覚障害や聴覚障害をもつ方も参加しており、最後に行った意見交換会ではそれぞれの立場で経験した困りごとの体験談も聞くことができました。

参加者の方からは、体験をしてから当事者と対話をしたことで多くの気づきがあり、声かけの大切さを改めて実感したと感想をいただきました。



ひょうご・ヒューマンフェスティバル2025inあまがさきに出展しました

令和7年8月9日(土)、みんなの声かけ運動普及啓発活動の一環として、「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2025inあまがさき」に参加しました。

ひょうご・ヒューマンフェスティバルは、毎年県内にて人権文化をすすめる県民運動推進強調月間(8月1日～8月31日)に開催されます。

みんなの声かけ運動は、尼崎市身体障害者連盟福祉協会の皆様のご協力の



もと、車いす体験・アイマスク体験・聴覚障害者体験の3ブースを回るスタンプラリーを実施し、多くの方に体験していただきました。

オープニングセレモニーには中野洋昌国土交通大臣が参加され、各ブースを回るとともに電動車いす体験に挑戦してくださいました。



令和7年度 兵身協ボウリング大会を開催しました!

令和7年12月10日(水)加古川市ニッケパークボウルにて兵身協ボウリング大会を開催しました。

県全域より総勢64名が集まり、障害別3区分とペア、チャレンジの5部門に分かれ、それぞれ親睦を図りながら2ゲームを楽しみました。

開催地である加古川市身体障害者福祉協会

長の森岡信子様からは全員にクッキーの差し入れをいただき、閉会式では、各部門の入賞者に木村理事長より賞品が授与されました。

最後に、会場であるニッケパークボウルのスタッフの方々には、準備段階から当日まで様々なお心遣いをいただき、大変なご尽力をいただきました。心より感謝を申し上げます。



障害者週間について

障害者基本法に基づき、毎年12月3日から9日までは「障害者週間」と定められています。この期間は、すべての人が互いの人格や個性を大切に、支え合いながら暮らす「共生社会」について考え、理解を深めることを目的としています。

当協会では、障害者週間の取組の一環として「兵身協ボウリング大会」を開催しました。会場では、参加された皆さんの笑顔があふれ、

和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

また、各地域でもさまざまな行事や取組が行われており、こうした活動を通じて、障害のある方の社会参加や文化・芸術活動への理解が少しずつ広がっています。

今後も一人ひとりが思いやりの心を持ち、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、歩みを進めていきたいと考えています。



令和7年度 兵庫県障害者福祉大会報告

11月16日（日）、豊岡市民プラザにて、例年と同様に、第21回兵庫県芸術・文化祭と併せて、県下の身体障害者、知的障害者、精神障害者とその団体の関係者などの参加を得て盛大に開催されました。表彰者は、下記の通りです。

受賞された皆様には、深く感謝とお喜びを申し上げます。また、表彰受賞者をご推薦いただくとともに、多数ご参加いただきました地域団体や関係者の皆様にご心からお礼申し上げます。

■ 地域身体障害者団体育成功労者表彰を受けられた16名

橋本 隆	高瀬 静嗣	南澤 定雄
敏森 くみ子	大西 恵子	藤田 正和
足立 勝則	河村 ひとみ	足立 幸生
山崎 亀雄	前田 裕	大川 三郎
金川 恵子	辻本 一郎	鷓尾 恭行
辻村 英世		

■ 地域身体障害者支援功労者理事長表彰を受けられた1名

増田 康弘

■ ボランティア貢献感謝を受けられた1名

松野 充博

兵庫県障害者福祉大会の様子



第21回兵庫県芸術・文化祭(舞台の部)ジェネシスオブエンターテイメントによる車いすダンスの様子



お悩みですか？

障害のある方、ご家族のための電話相談

障害者ほっとライン

家族・生活上の悩み・経済支援や仕事について健康・福祉サービス等、専門のスタッフによる電話相談窓口です。安心してお電話ください。

※この電話は総合的な相談窓口ですので、問題の解決を保証するものではありません。

相談日:月曜日～金曜日

午前9:00～午後4:30

※土・日・祝及び年末年始はお休みです

TEL:078-230-9545

Mail: shogaisha110@hyoshinkyō.jp



初心者対象
相談無料

ひょうご障害者 スマホ・パソコン 相談室



「変なマークが出るようになった。」
「メッセージってどうやって送るの?」

など、スマホやパソコンの困りごとがあればお気軽にお尋ねください。

(公財) 兵庫県身体障害者福祉協会内

TEL: 078-855-8772

FAX: 078-242-4260

メール: digital@hyoshinkyō.jp

月・火・水・金 10:00～16:00